			社会資本総合整	&備計画	(防災・安全)	事後	評価書				
計画の名称	2 立山町における安	全・安心で活力あふれるまちづく	くりの推進(防災・安全)							重点計画の該当	_
計画の期間	平成24年度 ~	平成28年度 (5年間)	交	を付対象	立山町						
計画の目標											
安全・安	で心できる環境で暮らっ	すことができるまちづくり									
○訪れやす	い都市公園の維持を目指す	ナこと									
都市公	公園施設の安全性を向上させ	、安全・安心な空間を提供する	とともに、防災面の機能強化を図	ります。							
○町営住宅	と入居者の生活空間の安全研	催保を目指すこと									
• 耐震基	基準を満たさない住宅の建材	や老朽化した住宅の外壁改修等	により居住空間の安全性向上を図	ります。							
○建築物の	D耐震化を進め、災害に強い	いまちづくりを目指すこと									
 地震時 	寺に大規模な被害が想定され	る建築物の耐震化を進めること	により、人的・経済的被害の軽減	を図ります。							
Oアスベス	ストを適切に除去し、近隣伯	主民の安全性を確保すること									
・旧耐震	裏基準の公共建築物内アスペクリックでは の公共建築物内アスペクリックでは の公共建築物内アスペクリックでは の公共建築物内アスペクリックでは の公共建築物内アスペクリックでは の公共建築物内アスペクリックでは の公共建築物内アスペクリックでは の公共を の会社を の公共を の公共を の会社を の公共を の会社を の会社を の公共を の会社	ストを適切に除去することによ	り、災害や解体時等のアスベスト	飛散防止を図り	ります。						
計画の成果目標	(/C=1)	ı									
立山町にま	おける都市公園の安全・安心	対策着手済みの公園数0公園か	ら3公園にします。								
住みやすさ	5満足度66.2%(H20) を 7 0.0%にします。									
町営住宅屋	記根・外壁の老朽化対策改修	:完了棟数の割合を43.7%(H23) から100%にします。								
要緊急安全	と確認大規模建築物の耐震診	%断実施率を0%(H25)から	100%にします。								
		設(改築、事業廃止等に伴う解析	体事業対象施設) におけるアスベ	スト除去実施図	率を0%(H23)から1(00%にしま	-				
定量的指標の定義	奏及び算定式	ı						標の現況値及び目		備考	
							当初現況値	中間目標値	最終目標値	VIII 3	
							(H23当初)	(H26末)	(H28末)		
立山町都	『市公園の安全・安心対策着	手済み公園数					0公園	3公園		都市公園安全・安心対策緊急支援事業 度までの事業のため	が平成25年
住みやす	上 さ満足度						66. 2%	_	70.0%		
町営住宅	三屋根・外壁の老朽化対策改	(修率					43. 7%	_	100.0%		-

										企里 的作	目除り光仇	旦及 い ロ	惊 旭		/共士		
									当初	現況値	中間目	標値	最終目標値		1用-与		
									(H23	3当初)	(H26	末)	(H28末)				
立山町都市公園の安全・安心対策着手済み公園数														きが平成25			
住みやすさ満足度									66	5. 2%	_		70.0%				
対策改修率	1								43	3. 7%	_		100.0%				
の耐震診断	実施率								0% 100.0% —								
旧耐震基準・アスベスト含有町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト除去実施率									0% 50.0% 100.0%			100.0%	平成26年度までに一部公共施設においてアスペト除去実施済み (町単独事業)				
+D) 40)5 百万	円 A	359 百万円 (うち提案事業分0百万円)	В	_	С	46	百万円	D	0	百万円				11. 4	%	
<u>></u>	対策改修率 の耐震診断 町公共施設	対策改修率 の耐震診断実施率 町公共施設(改築、事業	対策改修率 の耐震診断実施率 町公共施設(改築、事業廃止等に伴	対策改修率 の耐震診断実施率 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)には	対策改修率 の耐震診断実施率 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)における7	対策改修率 の耐震診断実施率 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト®	対策改修率 の耐震診断実施率 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト除去実施 405 百万円 A 359 百万円 B - C	対策改修率 の耐震診断実施率 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト除去実施率	対策改修率 の耐震診断実施率 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト除去実施率	(H2: 対策者手済み公園数 0: 対策改修率 4: の耐震診断実施率 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト除去実施率 405 百万円 A 359 百万円 B - C 46 百万円 D	当初現況値 (H23当初) 対策着手済み公園数 0公園 66.2% 対策改修率 の耐震診断実施率 43.7% 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト除去実施率 0% 405 百万円 A 359 百万円 B - C 46 百万円 D 0	当初現況値 中間目 (H23当初) (H26 対策着手済み公園数 0公園 66.2% - 対策改修率 43.7% の耐震診断実施率 0% 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト除去実施率 0% 405 百万円 A 359 百万円 B - C 46 百万円 D 0 百万円 D 0 百万円	当初現況値 中間目標値 (H23当初) (H26末) 対策着手済み公園数 0公園 66.2% - 対策改修率 43.7% - の耐震診断実施率 0% 100.0% 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト除去実施率 0% 50.0% 405 百万円 A 359 百万円 B - C 46 百万円 D 0 百万円	対策着手済み公園数 (H23当初) (H26末) (H28末) 対策者手済み公園数 0公園 3公園 - 66.2% - 70.0% 対策改修率 43.7% - 100.0% の耐震診断実施率 0% 100.0% - 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト除去実施率 0% 50.0% 100.0% 405 百万円 A 359 百万円 B - C 46 百万円 D 0 百万円 効果促進事業費の割	当初現況値 中間目標値 最終目標値 (H23当初) (H26末) (H28末) 対策着手済み公園数 0公園 3公園 - 都市公園2度までの製度までの製度までの製金をまでの製造した。 対策改修率 43.7% - 100.0% の耐震診断実施率 0% 100.0% - 町公共施設(改築、事業廃止等に伴う解体事業対象施設)におけるアスベスト除去実施率 0% 50.0% 100.0% 平成264ト除去実施 405 百万円 A 359 百万円 B - C 46 百万円 D 0 百万円 効果促進事業費の割合	当初現況値 中間目標値 最終目標値 (H23当初) (H26末) (H28末)	

評価の実施体制	事後評価の実施時期	
		平成29年度
立山町において評価を実施	公表の時期	

A1 都市公	、園・緑地等	等事業														
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名		事業実	施期間((年度)		全体事業費	個別施設計画	備考
留万	種別	種別	対象	間接	尹未有	安糸となる事未行	争未刊谷	川町村石	H24	H25	H26	H27	H28	(百万円)	策定状況	1佣 与
1-A-2	公園	一般	立山町	直接	立山町	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	都市公園施設の改築等 3公園	立山町						100	策定済	
									小	計(都市	公園・緑	地等事業	()	100		
A2 地域住	E宅計画に基	基づく事業	ř													
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名		事業実	施期間((年度)		全体事業費	個別施設計画	備考
田勺	種別	種別	対象	間接	于木石	女糸となる事業有	ず未r 1台	111=14.145	H24	H25	H26	H27	H28	(百万円)	策定状況	N⊞ √→
1-A-4	住宅	一般	立山町	直接	立山町	公営住宅等整備事業	公営住宅の改築 (2棟)	立山町						41	策定済	
1-A-6	住宅	一般	立山町	直接	立山町	公営住宅等ストック総合改善事業	公営住宅の長寿命化(4棟)	立山町						166	策定済	
1-A-8	住宅	一般	立山町	間接	立山町	住宅地区改良事業(空き家再生等推進事業)	老朽危険建築物の除却支援	立山町						4	策定済	
1-A-11	住宅	一般	立山町	直接	立山町	住宅地区改良事業(空き家再生等推進事業)	空家等実態調査	立山町						2	策定済	
									小計	(地域住	:宅計画に	基づく事	業)	213		

A3 住環境	竞整備事業																	
番号	事業	地域	交付	直接	事業	事業者要素となる事業名			事業内容	市町村名					•	全体事業費		備考
	種別	種別	対象	間接							H24	H25	H26	H27	H28	(百万円)	策定状況	VIII 3
1-A-7	住環境	一般	立山町	間接	立山		築物安全ストック形成事		耐震診断支援	立山町						20	策定済	
1-A-9	住環境	一般	立山町	直接	立山		築物安全ストック形成事		アスベスト除去 (1棟)	立山町						20	未策定	
1-A-10	住環境	一般	立山町	直接	立山	仕七・建	築物安全ストック形成事	+来	建築物の耐震診断(保育所3棟)	立山町		小卦 (住環境整位	常車条 /		6 46	策定済	
												\1,bl (工來先正!	用事本)		40		
C 効果低	足進事業			1														
		等事業効-	果促進事業	É														
	事業	地域	交付	直接		-tr		-	and the state of t	-lam-s I I fo		事業領	逐施期間	(年度)		全体事業費		tts -ler
番号	種別	種別	対象	間接	事業	者	要素となる事業	名	事業内容	市町村名	H24	H25	H26	H27	H28	(百万円)	1/1	
1-C-2	公園	一般	立山町	直接	立山	町 都市公園	: 立山町総合公園		園内下水道整備	立山町						30		
						•				•			小計			30		
C2 地域自	E宅計画に	基づく事	業													•	J	
42.口	事業	地域	交付	直接	事業	±z.	西本しみです光	h	事業内容	市町村名		事業等	E施期間	(年度)		全体事業費	I:	
番号	種別	種別	対象	間接	争来	白	要素となる事業	名	争耒內谷	中町村名	H24	H25	H26	H27	H28	(百万円)	1/1	用与
1-C-4	住宅	一般	立山町	直接	立山	町 住宅地区	改良事業(空き家再生等	F推進事業)	除却跡地整備	立山町						16		
									•				小計			16		
番号	一体的に	実施するこ	ことにより	期待され	る効果												ſi	備考
1-C-2	1-A-2事業	きと併せて	防災拠点	壁難地で	ある公園内	- イレの下水道を虫	を備することにより、災害	害時にも使用できる	浄化槽と公共下水の連携を図り、防災機	幾能を高めます。								
1-C-4	1-A-8事業	きと併せて	除却跡地	を防災公	園として整備	肯することにより、	中心市街地の防災力強化	とを図ります。										
D 社会資	資本整備円	滑化地籍	整備事業															
番号	事業	地域	交付	直接		事業者	要素となる		事業内容	市町村名		事業領	逐施期間	(年度)		全体事業費	li	
田力	種別	種別	対象	間接		学 米日	(事業箇	所)	(面積等)	111-111141	H24	H25	H26	H27	H28	(百万円)	VI	用つ
										<u> </u>		l	I					
番号	一体的に質	実施するこ	ことにより	期待され	る効果		1										(ji	業 考
番号	一体的に	実施するこ	ことにより	期待され	る効果												(i	
					る効果												(i	備考
2. 事業效	か果の発現	状況、目標	標値の達成	汶状況													(i	業
2. 事業效	か果の発現	状況、目標		汶状況					の公園施設の安全・安心対策を実施した		上 の安全性	や都市な	園の防災	機能が向	上した。		(ji	備考
2. 事業效	か果の発現	状況、目標	標値の達成	汶状況		・町営釜ヶ渕住宅の	の外壁等の改善及び町営	芦峅寺住宅の建替を	実施したことにより、入居者の居住空間	間の安全性が向上した。					上した。		(i)	備考
2. 事業效	か果の発現	状況、目標	標値の達成	汶状況		・町営釜ヶ渕住宅の・要緊急安全確認力	り外壁等の改善及び町営 大規模建築物(ホテル立)	芦峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル		間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具体	*化に向け	た検討作	業が始ま	った。		よる周辺住民		
2. 事業效	か果の発現	状況、目標	標値の達成	汶状況		・町営釜ヶ渕住宅の ・要緊急安全確認力 ・旧耐震基準・アン ことができた。	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物(ホテル立 スベスト含有町公共施設	芦峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校	実施したことにより、入居者の居住空間の の耐震診断を支援したことにより、発送、旧いきいき長寿センター)のアスベン	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具 スト除去を実施したこ。	*化に向け :により、	た検討作 災害や解	業が始ま 体時等の	った。 アスベス	ト飛散に		の健康被害を	を防止する
2. 事業效	か果の発現	状況、目標	標値の達成	汶状況		・町営釜ヶ渕住宅の ・要緊急安全確認力 ・旧耐震基準・アン ことができた。 ・これらの事業を复	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物(ホテル立) スペスト含有町公共施設 実施したことにより、安	芦峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校 全・安心できる環境	定実施したことにより、入居者の居住空間である。 ため、の耐震診断を支援したことにより、 を表している。 といいさいき長寿センター)のアスペンでは、 なのでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具 スト除去を実施したこ。	*化に向け :により、	た検討作 災害や解	業が始ま 体時等の	った。 アスベス	ト飛散に		の健康被害を	を防止する
2. 事業家 I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	な状況 加果の発芽		・町営釜ヶ渕住宅の ・要緊急安全確認力 ・旧耐震基準・アン ことができた。 ・これらの事業を复	り外壁等の改善及び町営 大規模建築物(ホテル立 スベスト含有町公共施設	芦峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校 全・安心できる環境	定実施したことにより、入居者の居住空間である。 ため、の耐震診断を支援したことにより、 を表している。 といいさいき長寿センター)のアスペンでは、 なのでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具 スト除去を実施したこ。	*化に向け :により、	た検討作 災害や解	業が始ま 体時等の	った。 アスベス	ト飛散に		の健康被害を	を防止する
2. 事業家 I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	文状況 効果の発動 帯標①	是状況	・町営釜ヶ渕住宅の ・要緊急安全確認力 ・旧耐震基準・アン ことができた。 ・これらの事業を复	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物(ホテル立) スペスト含有町公共施設 実施したことにより、安	芦峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校 全・安心できる環境 対しては、町民より	定実施したことにより、入居者の居住空間である。 ため、の耐震診断を支援したことにより、 を表している。 といいさいき長寿センター)のアスペンでは、 なのでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具 スト除去を実施したこ。	*化に向け こにより、	た検討作 災害や解	業が始ま 体時等の	った。 アスベス	ト飛散に		の健康被害を	を防止する
2. 事業家 I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	文状況 効果の発動 指標① 立山町	見状況 都市公園	・町営釜ヶ渕住宅の ・要緊急安全確認力 ・旧耐震基準・アン ことができた。 ・これらの事業を見なった(自然環境	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物(ホテル立) スペスト含有町公共施設 尾施したことにより、安 竟や災害危険性の低さに	首峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校 全・安心できる環境 対しては、町民より 目標値と実績値	定実施したことにより、入居者の居住空間である。 ため、の耐震診断を支援したことにより、 を表している。 といいさいき長寿センター)のアスペンでは、 なのでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具作 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する	本化に向け こにより、 る町民から	た検討作 災害や解	業が始ま 体時等の	った。 アスベス	ト飛散に		の健康被害を	を防止する
2. 事業家 I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	は状況 対果の発動 指標① 立山町町 の安全	是状況	・町営釜ヶ渕住宅の ・要緊急安全確認力 ・旧耐震基準・アン ことができた。 ・これらの事業を見なった(自然環境	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物(ホテル立) スペスト含有町公共施設 尾施したことにより、安 竟や災害危険性の低さに	芦峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校 全・安心できる環境 対しては、町民より	ぐ実施したことにより、入居者の居住空間の耐震診断を支援したことにより、見ないにいきしませいを、別のではいいを表表せンター)のアスペンでを底上げすることができたが、交通や引き評価)。	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具作 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する	本化に向け こにより、 る町民から	た検討作 災害や解	業が始ま 体時等の	った。 アスベス	ト飛散に		の健康被害を	を防止する
2. 事業家 I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成		記状況 郡市公園 ・安心対	・町営釜ヶ渕住宅の・要緊急を全発を発生される。 中間目標値	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立) スベスト含有町公共施設 尾施したことにより、安 寛や災害危険性の低さに 3公園 (H26末)	首峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校 全・安心できる環境 対しては、町民より 目標値と実績値	ぐ実施したことにより、入居者の居住空間の耐震診断を支援したことにより、見ないにいきしませいを、別のではいいを表表せンター)のアスペンでを底上げすることができたが、交通や引き評価)。	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具作 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する	本化に向け こにより、 る町民から	た検討作 災害や解	業が始ま 体時等の	った。 アスベス	ト飛散に		の健康被害を	を防止する
2. 事業家 I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成		見状況 『市公園 ・安心対 香み公園	・町営釜ヶ渕住宅の・要緊急を全発を発生される。 中間目標値	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立) スベスト含有町公共施設 尾施したことにより、安 寛や災害危険性の低さに 3公園 (H26末)	当峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校 全・安心できる環境 対しては、町民より 目標値と実績値 に差が出た要因	定実施したことにより、入居者の居住空間です。 の耐震診断を支援したことにより、及び、旧いきいき長寿センター)のアスペンでを底上げすることができたが、交通やり高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値と ・事業の着実な実施により、目標値と ・事業の着実な実施により、目標値と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具作 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する 実績値の差は生じなか	本化に向け、により、	た検討作災害や角の低い診	業が始ま 体時等の 価が大き	った。 アスベス く影響し	ト飛散に、町民の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業ダ I定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成		記状況 郡市公園 ・安心対	・町営釜ヶ渕住宅の ・要緊急安全確認7 ・旧耐震基準・た。 ・ことができた。 ・これらの事業を9 なった(自然環境 中間目標値 最終実績値	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立) スベスト含有町公共施設 実施したことにより、安: 意や災害危険性の低さに 3公園 (H26末)	芦峅寺住宅の建替を 山、宝堂ターミー学校 (旧立山中央小学校 全・安心できる環境対していていて、町民より 目標値とと実績値 に差が出た要因 目標値と実績値	ぐ実施したことにより、入居者の居住空間の耐震診断を支援したことにより、見ないにいきしませいを、別のではいいを表表せンター)のアスペンでを底上げすることができたが、交通や引き評価)。	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具作 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対す 実績値の差は生じなか 値として設定していた	本化に向け ににより、 5町民から った。	た検討作災害や角の低い言	業が始まな体時等の	った。 アスベス く影響し t性に関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業ダ I定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成		見状況 『市公園 ・安心対 香み公園	・町営釜ヶ渕住宅の ・要緊急安全確認7 ・旧耐震基準・た。 ・ことができた。 ・これらの事業を9 なった(自然環境 中間目標値 最終実績値	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立) スベスト含有町公共施設 実施したことにより、安: 意や災害危険性の低さに 3公園 (H26末)	当峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校 全・安心できる環境 対しては、町民より 目標値と実績値 に差が出た要因	(実施したことにより、入居者の居住空間が、の耐震診断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスペンでを底上げすることができたが、交通や原高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値とき当初現況値の約1.05倍の水準を目標	間の安全性が向上した。 連築物の耐震改修の具体 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する 実績値の差は生じなか 値として設定していたが比較的低い買い物等	本化に向け により、 5町民から った。 町民の が含めた住	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業ダ I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	対状況 対果の発 指点の安 新数 標準 住庭	見状況 『市公園 ・安心対 香み公園	・町営釜ヶ渕住宅の・要緊急安全確認が ・要緊急安全確認が ・旧耐震基準・アー・ことができた。 ・これらの事業なった(自 中間目標値 最終実績値 最終目標値	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立 スペスト含有町公共施設 実施したことにより、安 意や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 3公園 (H26末)	芦峅寺住宅の建替を 山、宝堂ターミー学校 (旧立山中央小学校 全・安心できる環境対していていて、町民より 目標値とと実績値 に差が出た要因 目標値と実績値	(実施したことにより、入居者の居住空間が、の耐震診断を支援したことにより、変え、旧いきいき長寿センター)のアスベンをを底上げすることができたが、交通やり高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値というできたが、で通りであると、事業の着実な実施により、目標値というでは、	間の安全性が向上した。 連築物の耐震改修の具体 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する 実績値の差は生じなか 値として設定していたが比較的低い買い物等	本化に向け により、 5町民から った。 町民の が含めた住	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2. 事業家 I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	次状況 が果の発見 指標の で が 指標の で が 指標の で を を を を を を を に で を を に で を を に で に に で に に で に で に に に に に に に に に に に に に	記状況 『市公園 ・安心園 ・安心園 する満足	・町営釜ヶ渕住宅の・要緊急安全確認が ・要緊急安全確認が ・旧耐震基準・アー・ことができた。 ・これらの事業なった(自 中間目標値 最終実績値 最終目標値	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立 スペスト含有町公共施設 実施したことにより、安 意や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 3公園 (H26末)	当峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校 全・安心できる環境 対しては、町民より 目標値と実績値 に差が出た要因 目標値と実績値 に差が出た要因	(実施したことにより、入居者の居住空間が、大居者の居住空間が、大田の時間が断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスペンを底上げすることができたが、交通や質問評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値という。 ・事業の着実な実施により、目標値という。 ・当初現況値の約1.05倍の水準を目標をことを鑑みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値	間の安全性が向上した。 連築物の耐震改修の具体 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する 実績値の差は生じなか 値として設定していたが比較的低い買い物等	本化に向け により、 5町民から った。 町民の が含めた住	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業ダ I定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	次状況 が果の発表 指標山安着 標のの に変われ 標の での に変われ にな になる にな にな になる になる にな に	見状況 『市公園 「京子公園 すさ さる 大さ に を を を を を を を を を に で に で に で に で に に に に に に に に に に に に に	・町営釜ヶ渕住宅の・要緊急安全確認が ・要緊急接達率・た。・ことがらの事然をきなった(自己とがらの事然なかった。・これらの・事然なかった。・これらの事となった(自己を表表をきなった。・これらの事となった。・これらいる。 ・一間目標値 最終実績値 最終実績値	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立 スペスト含有町公共施設 尾施したことにより、安 倉や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 70.0% (H28末) 63.5% (H29)	芦峅寺住宅の建替を 山、第一年 (旧立山中央小学校 全・安心で町民より を・で町民より 目標値と実績値 に差が出た要因 目標値と実績値 に差が出た要因	(実施したことにより、入居者の居住空間が、の耐震診断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスベンを底上げすることができたが、交通やり高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値といるできたが、で通のりでは、まず、事業の着実な実施により、目標値といるできない。 ・当初現況値の約1.05倍の水準を目標ることを鑑みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具作 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する 実績値の差は生じなか 値として設定していた が比較的低い買い物等 が目標値を下回る水準	本化に向け、 たにより、 ち町民からった。 が、町民の住民がを含る結果	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業ダ I定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	は 大状況 が果の発き 指標山安着 指の安 を 指標の で を が に で に で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	見状況 都市公の園 南大公の園 すさ 高力で 大さ 大き 大さ 大き 大さ 大き 大さ 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	・町営釜ヶ渕住宅の・要緊急安全確認が ・要緊急接達率・た。・ことがらの事然をきなった(自己とがらの事然なかった。・これらの・事然なかった。・これらの事となった(自己を表表をきなった。・これらの事となった。・これらいる。 ・一間目標値 最終実績値 最終実績値	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立 スペスト含有町公共施設 尾施したことにより、安 倉や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 70.0% (H28末) 63.5% (H29)	当峅寺住宅の建替を 山、室堂ターミナル (旧立山中央小学校 全・安心できる環境 対しては、町民より 目標値と実績値 に差が出た要因 目標値と実績値 に差が出た要因	(実施したことにより、入居者の居住空間が、大居者の居住空間が、大田の時間が断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスペンを底上げすることができたが、交通や質問評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値という。 ・事業の着実な実施により、目標値という。 ・当初現況値の約1.05倍の水準を目標をことを鑑みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具作 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する 実績値の差は生じなか 値として設定していた が比較的低い買い物等 が目標値を下回る水準	本化に向け、 たにより、 ち町民からった。 が、町民の住民がを含る結果	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業ダ I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	次状況 が果の発見 指標の が表 指標の でき 指標と をき に変 をき に変 をき に変 をき に変 をき に変 をき に変 をき に変 をき に変 をき に変 に変 に変 に変 に変 に変 に変 に変 に変 に変	見状況 都市公の園 南大公の園 すさ 高力で 大さ 大き 大さ 大き 大さ 大き 大さ 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	・町営急ヶ名作器2 ・要緊急安全確認2 ・ 田子でも業できませい。 ・ ことがらの事然なった(・ これった(中間目標値 最終実績値 最終実績値 最終実績値 最終事標値	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立 スペスト含有町公共施設 尾施したことにより、安 意や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 70.0% (H28末) 63.5% (H29) 100.0% (H28末)	芦峅寺住宅の建替を 山、第一年 (旧立山中央小学校 全・安心で町民より を・で町民より 目標値と実績値 に差が出た要因 目標値と実績値 に差が出た要因	(実施したことにより、入居者の居住空間が、の耐震診断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスベンを底上げすることができたが、交通やり高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値といるできたが、で通のりでは、まず、事業の着実な実施により、目標値といるできない。 ・当初現況値の約1.05倍の水準を目標ることを鑑みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具代 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する 実績値の差は生じなか 値として設定していた が比較的低い買い物等 が目標値を下回る水準	本化に向け、 たにより、 ち町民からった。 が、町民の住民がを含る結果	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業ダ I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	大沢の発表 指立の策数 指住度 指可全手 ②や ・ で で で の で で で の で で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	見状況 『市公園対 園対園 対 さ 満足 と を を を を を を を を を を を を を	・町営急ヶ名作器2 ・要緊急安全確認2 ・ 田子でも業できませい。 ・ ことがらの事然なった(・ これった(中間目標値 最終実績値 最終実績値 最終実績値 最終事標値	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立 スペスト含有町公共施設 尾施したことにより、安 意や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 70.0% (H28末) 63.5% (H29) 100.0% (H28末)	当 仲寺住宅の建替を 山、第一年 中央小学校 は、田立山中央小学校 全・安では、で町民よ 日標値とと実績値 に差が出たと実績値 に差が出た要因 目標値と実績値 に差が出た要因	(実施したことにより、入居者の居住空間が、の耐震診断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスベンを底上げすることができたが、交通やり高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値といるできたが、で通のりでは、まず、事業の着実な実施により、目標値といるできない。 ・当初現況値の約1.05倍の水準を目標ることを鑑みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具代 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対する 実績値の差は生じなか 値として設定していた が比較的低い買い物等 が目標値を下回る水準	本化に向け、 たにより、 ち町民からった。 が、町民の住民がを含る結果	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業ダ I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	は 対果の発見 指標の ででは が表します。 ででは ででは ででは ででは ででは ででは ででは でで	見状況 『市会の公園 対園 を を を を を を を を を 全 確 認	・町営釜ヶ次領を住宅の・要緊急安全権を表している。 要緊急を当事を発展という。 いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう はいっこう はいいっこう はいいっこう はいっこう はいいっこう はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいい	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立) スペスト含有町公共施設 実施したことにより、安 党や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 70.0% (H28末) 63.5% (H29) 100.0% (H28末)	古・中・寺住宅の建著を 山、田立山中央小学校 東村 と安一に 日標値とと実績値 に差が出たと実績値 に差が出たと実 標値出たと実 に差が出たと実 横値出たと実 横値とと 日標値出たと と実 横値とと と実 横値と とま 大 とと 大 とと 大 で で 町 で 町 に が に を が と と と と と と と と と と と と と	(実施したことにより、入居者の居住空間が、の耐震診断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスベンを底上げすることができたが、交通やり高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値といるできたが、で通のりでは、まず、事業の着実な実施により、目標値といるできない。 ・当初現況値の約1.05倍の水準を目標ることを鑑みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具件 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対すが 実績値の差は生じなか 値として設定していたが比較的低い買い物等が目標値を下回る水準 実績値の差は生じなか	本化に向け、 5町民から った。 町氏のの が、を含める結果 った。	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 。町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業家 I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	立 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	記状況 「おおお」 「おおおいます」 「おおいます」 「おいます」 「おいまする」 「おいます」 「おいます」 「おいます」 「おいまする」 「おいます」 「おいます」 「おいます」 「おいます」 「おいます」 「おいます」 「おいまするこれまするこれます。 「おいまするこれまするこれまする。 「おいまするこれまする。 「おいまするこれまする。 「おいまするこれまする。 「おいまするこれまする。 「おいまするこれまする。 「おいまするこれまする。 「おいまする。 「おいまするこれまする。 「おいまするこれまする。 「おいまするこれまする。 「おいまするこれまする。 「おいまするまする。 「おいまするこれまする。 「おいまするまする。 「おいまするまする。 「おいまするまするまする。 「おいまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするま	 町営窓会ケンスを表する ・要緊急を変する ・要緊急を変する ・アンスカー ・ア	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立は スペスト含有町公共施設 尾施したことにより、安 党や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 70.0% (H28末) 63.5% (H29) 100.0% (H28末) 100.0% (H28末)	当 仲寺住宅の建替を 山、第一年 中央小学校 は、田立山中央小学校 全・安では、で町民よ 日標値とと実績値 に差が出たと実績値 に差が出た要因 目標値と実績値 に差が出た要因	(実施したことにより、入居者の居住空間が、の耐震診断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスペンを底上げすることができたが、交通やり高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値というの評価を認みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値と事業の着実な実施により、目標値という。	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具件 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対すが 実績値の差は生じなか 値として設定していたが比較的低い買い物等が目標値を下回る水準 実績値の差は生じなか	本化に向け、 5町民から った。 町氏のの が、を含める結果 った。	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 。町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業ダ I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	は 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	見状況 『市会の公園 対園 を を を を を を を を を 全 確 認	・町営釜ヶ次領を住宅の・要緊急安全権を表している。 要緊急を当事を発展という。 いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう はいっこう はいいっこう はいいっこう はいっこう はいいっこう はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいい	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立) スペスト含有町公共施設 実施したことにより、安 党や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 70.0% (H28末) 63.5% (H29) 100.0% (H28末)	古・中・寺住宅の建著を 山、田立山中央小学校 東村 と安一に 日標値とと実績値 に差が出たと実績値 に差が出たと実 標値出たと実 に差が出たと実 横値出たと実 横値とと 日標値出たと と実 横値とと と実 横値と とま 大 とと 大 とと 大 で で 町 で 町 に が に を が と と と と と と と と と と と と と	(実施したことにより、入居者の居住空間が、の耐震診断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスペンを底上げすることができたが、交通やり高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値というの評価を認みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値と事業の着実な実施により、目標値という。	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具件 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対すが 実績値の差は生じなか 値として設定していたが比較的低い買い物等が目標値を下回る水準 実績値の差は生じなか	本化に向け、 5町民から った。 町氏のの が、を含める結果 った。	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 。町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2. 事業家 I 定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	が 大が果 指立の策数指住度 指町外策 指町外策 指町外策 指野人職 標営壁改 標際規震 標際規震 標際規 標際規 標別 の修 の修 の修 の修 のの修 の修 のの修 のの修 のの	現状況 の	・ 野宮 会会 会会 を を を を を を を を を を を を を を を を	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立は スペスト含有町公共施設 尾施したことにより、安 党や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 70.0% (H28末) 63.5% (H29) 100.0% (H28末) 100.0% (H28末)	芦峅寺住宅の建替ナル 中等住宅の建替ナル (旧立山中央外では、田本山・田標値とと、東 はと出たとと、東 できては、とまで、田標値と出たと、東 できて、大 は、と、大 は、と、大 に、差が出たと、東 では、と、東 では、と、東 では、と、東 では、と、東 では、と、ま では、ま でし、ま	(実施したことにより、入居者の居住空間が、の耐震診断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスペンを底上げすることができたが、交通やり高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値というの評価を認みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値と事業の着実な実施により、目標値という。	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具件 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対すが 実績値の差は生じなか 値として設定していたが比較的低い買い物等が目標値を下回る水準 実績値の差は生じなか	本化に向け、 5町民から った。 町氏のの が、を含める結果 った。	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 。町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2. 事業效	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	が果 指立の策数指住度 指町外策 指要大耐 指旧の策数指住度 指町外策 指要大耐 指際外標 登 標緊規震 標耐能 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	記状況 の	 町営窓会ケンスを表する ・要緊急を変する ・要緊急を変する ・アンスカー ・ア	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立は スペスト含有町公共施設 を施したことにより、安 党や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 70.0% (H28末) 63.5% (H29) 100.0% (H28末) 100.0% (H28末) 100.0% (H28末)	芦峅寺住宅の建替ナル 神寺住宅の中央・学校 山、旧立 中央・マーマー・マーマー・マーマー・マーマー・マーマー・マーマー・マーマー・マー	(実施したことにより、入居者の居住空間が、の耐震診断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスペンを底上げすることができたが、交通やり高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値というの評価を認みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値と事業の着実な実施により、目標値という。	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具作 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対すが 実績値の差は生じなか 値として設定していたが、 が比較的低い買い物等 実績値の差は生じなか 実績値の差は生じなか 実績値の差は生じなか 実績値の差は生じなか	本化にはり、 5町民から った。 町大のである がを含るる おととなった。	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 。町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する
2.事業ダ I定量的指	か果の発現 5標に関す	状況、目標 る交付対象	標値の達成	が果 指立の策数指住度 指町外策 指要大耐 指旧べ施 標山安着 標み 標営壁改 標緊規震 標耐ス設に (3) 住の修 (4) 急模診 (5) 震トになる (3) 住の修 (4) 急模診 (5) 異トさま	現状況 の	・ 野宮 会会 会会 を を を を を を を を を を を を を を を を	の外壁等の改善及び町営 大規模建築物 (ホテル立は スペスト含有町公共施設 を施したことにより、安 党や災害危険性の低さに 3公園 (H26末) 70.0% (H28末) 63.5% (H29) 100.0% (H28末) 100.0% (H28末) 100.0% (H28末)	芦峅寺住宅の建替ナル 中等住宅の建替ナル (旧立山中央外では、田本山・田標値とと、東 はと出たとと、東 できては、とまで、田標値と出たと、東 できて、大 は、と、大 は、と、大 に、差が出たと、東 では、と、東 では、と、東 では、と、東 では、と、東 では、と、ま では、ま でし、ま	 (実施したことにより、入居者の居住空間の耐震診断を支援したことにより、発表、旧いきいき長寿センター)のアスペンを底上げすることができたが、交通や質高評価)。 ・事業の着実な実施により、目標値といったことを鑑みると、町民からの評価なかったこと等により、最終実績値といったこと等により、最終実績値とい事業の着実な実施により、目標値とい事業の着実な実施により、目標値という事業の着実な実施により、目標値という事業の着実な実施により、目標値という事業の着実な実施により、目標値という事業の着実な実施により、目標値という。 	間の安全性が向上した。 建築物の耐震改修の具作 スト除去を実施したこ。 買い物の利便性に対すが 実績値の差は生じなか 値として設定していたが、 が比較的低い買い物等 実績値の差は生じなか 実績値の差は生じなか 実績値の差は生じなか 実績値の差は生じなか	本化にはり、 5町民から った。 町大のである がを含るる おととなった。	た検討作災害や角の低い言	業が始まな 体時等の 活価が大き 。町の安全 則便性向」	った。 アスベス く影響し coteに関し	ト飛散に 、町民の て一定の	住みやすさ満	の健康被害を足度は微減す	を防止する

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	・立山町総合公園内トイレの下水道整備を実施したことにより、防災拠点避難地としての防災機能が向上した。・特定空家等が防災公園として再生したことにより、地域の防災力強化や沿道景観の改善につながった。・空家等実態調査を実施したことにより、新たな特定空家等を特定し対策を検討することができた。
3. 特記事項(今後の方針等)	・整備した公園施設や町営住宅ストックの持続的な機能維持を図るため、適切な時期に適切な措置を講じていく。・近隣住民等の安全確保を図るため、新たに認定した特定空家等に対する適切な措置を講じていく。・町民の住みやすさ満足度の向上を図るため、生活関連施設の充実をはじめとする住環境に関する施策を複合的に実施していく。

(参考図面)

